



平成26年度の振り返りと介護保険制度改正後の展望

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する法律」が平成26年6月18日に成立しました。この法律に基づく介護保険法の一部改正において、「介護支援専門員は、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない」と新たに規定されたところです。平成27年度以降介護保険法改正において、介護支援専門員に関係する内容としては、①介護支援専門員に係る研修カリキュラムの見直し、②介護支援専門員実務研修受講試験の見直しで解答免除の廃止（27年度～）、③課題整理総括表及び評価票の導入、④居宅介護支援事業所の指定権限の移譲（平成30年4月からの予定）、⑤予防給付の地域支援事業への移行等が挙げられています。

我々介護支援専門員は、こうした改正に対して、しっかりとした対応をしなければならないものと考えております。

さて、当協会の26年度事業を振り返ってみると、地域包括ケアシステム構築を視野に入れながら、医療関係者との連携を強化した一年となりました。県医師会や県薬剤師会との連携体制の懇談会や検討会を開催し、業務遂行における連携等について方向性を見いだしております。県レベルから地区レベルへと広がりを見せております。

また、これまで継続してきた活動では、地区協会と共催しております各種研修の開催、主任介護支援専門員の実態調査における研究活動、ホームページを活用した情報提供、会員向けの相談活動等は各部会が中心的役割をもって展開しております。

当協会は、会員約800名を有する介護の専門的職能団体となっております。27年度においては、新規会員のさらなる増強を図り、組織基盤を強化し、要介護高齢者及び家族の住み慣れた地域での自立した暮らしの支援、県民への様々な支援、そして関係する機関・団体との共同活動を展開していきます。どうか、会員の皆様には、今後ご支援ご協力をお願いいたします。

(目次)	○巻頭言・・・1P
	○県内3地区協会活動紹介・・・2P～4P
	○ケアマネペンリレー・・・5P
	○【海外研修報告】・・・6P
	○秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告
	事務局・研修部会・調査研究部会・広報部会・相談部会・・・7P～8P

県内3地区協会活動紹介

- 県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
- 中央地区：男鹿湯上南秋・秋田・本荘由利
- 県南地区：大仙仙北・横手平鹿・湯沢雄勝

県北地区介護支援専門員協会

地区会長：袴田 光樹（弘前大学医学部附属病院 地域連携室）

事務局：平澤 陽（指定居宅介護支援事業所 おおたき）

TEL 0186-47-7222 FAX 0186-47-7013

地区会員：300名（平成26年12月10日現在）

【活動報告】

◇平成26年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日時：平成26年5月10日（土） 13:00～16:00
- ・場所：北秋田市広域交流センター ・参加者：63名
- ・演題：「ケアマネジャーとして大切なこと」
- ・講師：熊谷 大輔 氏（秋田看護福祉大学看護福祉学部福祉学科）



◇平成26年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日時：平成26年8月23日（土）13:00～16:30
- ・場所：秋田県北部シルバーエリアコミュニティセンター
- ・参加者：156名
- ・内容：「認知症ケアセミナー」
 - ① 寸劇 演目「まあるくなあれ」
劇団やまぼうし（比内ふくし会職員有志）
 - ② 基調報告「秋田県介護支援専門員協会調査研究部会の活動から」
秋田県介護支援専門員協会 調査研究部会 伊藤 政利 氏
 - ③ 講演「認知症高齢者を地域で支えるには」
NPO法人 スマイル劇団 代表 佐野 ゆり 氏



◇平成26年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第3回研修会◇

- ・日時：平成26年10月18日（土）13:00～16:00
- ・場所：能代山本広域交流センター ・参加者：62名
- ・演題：「在宅高齢者の生活を守る～相互理解とこれからの地域連携～」

シンポジウム

- | | | | |
|---------|---------------|-------|---------|
| ・進行 | 秋田県介護支援専門員協会 | 会 長 | 福本 雅治 氏 |
| ・シンポジスト | 能代警察署 生活安全課 | 係 長 | 佐藤 巧 氏 |
| | 能代消防署 | 救急救命士 | 佐藤 洋右 氏 |
| | 能代市社会福祉協議会 | 係 長 | 松岡 亮 氏 |
| | 能代ひまわり基金法律事務所 | 所 長 | 岩崎 康宏 氏 |



来年度も地区会員の皆様と共に歩む活動をしてまいりたいと思います。よろしくお願ひ致します。

中央地区介護支援専門員協会

地区会長：長澤 利一（秋田けやき会居宅介護支援事業所）

事務局：荒谷 亨（秋田聖徳会養護老人ホーム）

TEL 018-862-3267 FAX 018-862-4998

地区会員：253名 賛助会員：個人1名 団体3事業所（平成26年12月10日現在）

【活動報告】

◇平成26年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日 時：平成26年4月26日（土） 13：30～16：30
- ・場 所：中央シルバーエリア 多目的ホール
- ・参加者：50名
- ・テーマ：「これからのケアマネについて考えよう」
～なぜ多職種連携が必要か、求められている役割とは～
- ・進行役：秋田県中央地区介護支援専門員協会



◇平成26年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日 時：平成26年12月13日（土） 15：00～17：00
- ・場 所：秋田県総合保健センター 多目的ホール
- ・参加者：75名（ケアマネ45名、薬剤師30名）
- ・テーマ：「薬剤師、介護支援専門員の現状について」
～専門職としての役割を果たすために～
- ・進行役：秋田県薬剤師会・秋田県中央地区介護支援専門員協会



第2回研修会は初めての試みとして、秋田県薬剤師会と秋田県中央地区介護支援専門員協会合同で研修会を開催しました。研修テーマは、「薬剤師・介護支援専門員の現状について」～専門職としての役割を果たすために～と題して、薬剤師と介護支援専門員が顔を合わせ意見交換し顔の見える関係をつくることを最大の目的に、第1回研修会と同様にワールドカフェ方式で研修会を開催しました。

ワールドカフェは、1グループ4名構成で3ラウンド展開し、ラウンド1：自分たちの仕事の現状について、ラウンド2：薬で困っていること、ラウンド3：在宅が進まないで困っていること、まとめて「今後どのような取り組みが必要か？」を討議しました。

討議結果からは、「お薬手帳の裏に担当介護支援専門員の連絡先を記載したら連携がスムーズに取れる」、「地域包括ケアに向け薬の情報だけではなく様々な情報が記載された手帳があれば連携がスムーズに行く」、「訪問看護が薬の仕分け・管理をしている現状で居宅療養管理指導がうまく活用されれば薬剤師が連携を取りやすいのではないか」等の意見出され、明日からでも実践できる内容が多かったです。

また、何よりも薬剤師と介護支援専門員の距離が短くなったこと、顔が見える関係作り、連絡先を交換できたことが最大の収穫でした。

今年度は、平成27年2月に第3回研修会を開催する予定です。「地域包括ケアシステム構築のための連携推進」をテーマに介護支援専門員の多様な役割をさらに向上させるべく、効果的な研修を展開していきたいと考えておりますので、多数の参加を賜りますようお願い申し上げます。

県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和 (介護老人保健施設 なごみのさと)

事務局：矢野 仁志 (なごみ居宅介護支援センター)

TEL 0187-63-8885 FAX 0187-88-8136

地区会員：242名 (平成26年12月10日現在)

【活動報告】

◇平成26年度 秋田県県南地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日 時：平成26年5月10日 (土) 12:30~16:15
- ・場 所：グランドパレス川端 ・参加者：78名
- ・演 題：「診療報酬改定に係る介護支援専門員と医療機関との連携」
- ・講 師：ケアプランセンターソラーナ
在宅事業部長 成澤 正則 氏



◇平成26年度 秋田県県南地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日 時：平成26年10月4日 (土) 13:00~16:00
- ・場 所：秋田県社会福祉会館
※日本介護支援専門員協会東北ブロック研修会と共同開催



◇平成26年度 秋田県県南地区介護支援専門員協会

臨時総会 第3回研修会のお知らせ◇

- ・日 時：平成27年1月31日 (土) 13:30~16:15
- ・場 所：湯沢市 ニュー千寿苑

○新任~3年目のケアマネを対象とした「できるケアマネ養成塾」を今年も開催中！！

昨年に引き続き県南地区介護支援専門員協会では、新規会員や経験年数の浅いケアマネを対象とした

「できるケアマネ養成塾」を全3回の日程で開催しています。

- 第1回目 平成26年12月11日 (木) 湯沢市会場
- 第2回目 平成27年 2月18日 (水) 横手市会場
- 第3回目 平成27年 3月13日 (金) 大仙市会場

県南地区協会独自の取り組みですが、全3回参加必須の小グループで行うケアマネのスキルアップ塾。昨年は参加された皆さんが、回を重ねるたびにケアマネとしての輝きを増してきているのが感じられました。今年度についても現在進行形であり、この後参加者がどんな変貌を見せ各地域で活躍していくのか楽しみです！！

県南地区介護支援専門員協会では、小原会長のもと2年目の活動となりましたが、会員皆様のご協力をいただき無事今年度の事業を実施する事ができました。平成27年度も、県南地区から色々な問題提起や様々な取り組みをしていきたいと考えていますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。

平成26年度臨時総会および第3回研修会を平成27年1月31日(土)湯沢市にて開催します。地区理事改選等の臨時総会、笑いころげる講演会などを予定しておりますので皆さんご参加ください！！



ケアマネ・ペンリレー



「たまたま」ではなく「確実に」元気で

福寿荘ケアプランセンター 工藤佐知子 さん

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

五城目町福寿荘ケアプランセンターの工藤です。当施設は平成19年開設ですので今年で8年目。開設以来5年間は一人ケアマネで頑張ってきましたが、現在は良きパートナーにも恵まれ忙しいながらも二人体制で楽しく仕事させて頂いております。

さて先日のことですが、夫と「脳ドック」について話し合いました。

夫の後輩で現在47歳になる方の話でしたが、仮にKさんと呼びます。Kさんは長年職場の健康診断（いわゆる人間ドック）をきちんと受けており数字はいつも良好。加えてKさんのご両親とも健在なので、身体の数値的にも遺伝子的にも普段から健康には自信を持って日々を過ごしていたそうです。

ところが一昨年の健診時、申込書の封筒と一緒に入っていた「脳ドック」のチラシに『たまたま』興味を持ったKさんは「やったこと無いし面白そうだ」と軽い気持ちでそちらも申し込んだそうです。そしたら後日、何とその脳ドックで前頭葉部に「動脈瘤」が見つかったのです。

ほとんどの人は多かれ少なかれ若干の血管の「瘤」は皆持っているそうです。Kさんも発見時の瘤の大きさは6mm程度でしたので、医者をはじめは「今すぐどうこうという感じでは無いと思われますので、今後定期的に検査し経過を観察しながら様子を見ましょう」ということになりました。Kさんも、はじめはそんなに深刻には捉えていなかったのですが、残念ながらその後の経過が悪くなって月イチの検査ごと瘤は大きくなっていき、結局数ヶ月後に手術に踏み切る事になってしまいました。

ただ不幸中の幸いというか、健康体の状態で手術出来たので後遺症は皆無。加えて内臓系だけでなく、脳の健康に対する不安も取り除かれたのでかえって良かったと言っていて「もし、あの時『たまたま』脳ドックを受けていなければ、今こうして元気であることもなかったかも知れない。だから工藤さんも受けた方が良いでしょう」と主人に言っていたそうです。

私たち夫婦も間もなく50歳になりますが、三人の子どもたちも一人前になるにはもう3～4年はかかります。万に備え『たまたま』ではなく『確実に』元気であるためにも、今年は「脳ドック」を夫婦で受けてみようかという結論に達したのは言うまでもありませんでした。

今年4月には介護保険制度の法改正が控えています。何かと多忙な一年になりそうですが皆様、ともに元気に頑張りましょう。

工藤さん、お忙しいところ、ありがとうございました。

次回ケアマネペンリレーをお楽しみに！！

【海外研修報告】平成26年度 民間社会福祉施設職員等海外研修・調査に参加して

県北地区介護支援専門員協会 東恵園地域生活支援センター 花田 優

このたび、「平成26年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査」の団員に選出され、9月13日（土）～27日（土）の15日間、デンマーク・スウェーデンへ行ってまいりました。福祉を学ぶものなら誰でも一度は訪れたい福祉先進国の北欧研修を終え、自分にとって貴重な財産となりました。この機会を与えてくださったすべての皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、本研修・調査は、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが実施するもので、実地での研修・調査を行い、日本の民間社会福祉施設等における処遇及び施設運営等の向上に資することを目的としています。全国に団員を募集し、今回は私を含め13名の団員が北欧へ派遣されました。

そこで、私が学んできた一つとして、北欧の介護職員の労働環境を挙げさせていただきます。

デンマーク・スウェーデンの介護職員の多くは市の職員で、給与水準は公務員と同一とのことでした。デンマークでは、1年8ヶ月の教育期間と1年間の実習を経て「社会保健ヘルパー」の資格を取ることができます。教育費は無料で、さらに驚いたことに現場実習では逆に“給料”が支給されるということでした。



また、介護職に就いてからの待遇も考慮されており、労働時間の上限が定められていたり夜勤専門の職員が雇用されている施設もありました。

デンマークの福祉テクノロジーの理念は、利用者の自立支援とともに、介護職員の安全に配慮し、介護職員の健康を護ることをも考えた二本柱の理念です。だからこそ北欧の介護職員は、時間的・身体的・精神的余裕をもって仕事に集中でき、それがニュートラル（平穏な心の状態で高齢者に接すること）に繋がっているのだと思いました。本研修で出会った北欧の所長や介護職員は、皆、自分の仕事に誇りを持っていて、そして、訪問し

〈コペンハーゲン福祉保健課〉たすべての施設では様々な魅力があふれていました。そのような人達・環境とふれあうことができる高齢者が、生き生きと生活しているのもうなずけます。

今、日本では、介護職の離職が大きな問題になっています。さらには、「自己犠牲は美德」の雰囲気、日本の福祉界にはまだまだ蔓延しているような気もいたします。今後、「人材の確保」を推し進めるため、現在働いている介護職員を色々な弊害から護ることができるよう、労働環境や待遇を整える取り組みを課題とすべきだと思います。そして、施設経営者や管理者は、「介護職員を護る」意識を高めていく必要があるのだと強く感じています。

施設経営者や管理者の皆さんは、是非声に出して言ってください。

「自分があなたたちをまもります」と。そして私たち職員一人ひとり、自らの職場が果たして魅力のある環境なのかどうかを自問自答する毎日を過ごしていくのです。



〈デメンスセンター・ピーレフセットにて〉

〈ナーシングホームにて〉

皆さんの職場は魅力ある職場ですか？人にすすめることができる職場ですか？

秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

◆ 事務局 ◆

平成26年度秋田県介護支援専門員協会 臨時総会開催のお知らせ

平成26年度秋田県介護支援専門員協会臨時総会が平成27年3月7日（土）開催されます。詳細につきましては、決まり次第ホームページへ掲載いたしますので、よろしくお願いいたします。

平成27年度秋田県介護支援専門員協会 定期総会日程について

平成27年度秋田県介護支援専門員協会定期総会を、5月16日（土）開催予定です。詳細につきましては、決まり次第ホームページへ掲載いたします。

会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いしています。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

◎ 研修部会 ◎

平成26年度、研修部会では5月に、課題であった「災害対策研修」を行い、何よりも日頃のつながりが大事と再確認しました。また、前年度に引き続き、予防はどうなる・・・と思いつつ県より受託の「介護予防従事者研修」を行いました。今回は経験年数で事例件数を変え、より受講者のニーズに沿ったものをと工夫を加えました。10月の東北ブロック研修会では調査・研究部会の取り組みを生かし、認知症についての理解を深めました。その他各地区の研修等に関してはホームページで案内し会員の研修機会の確保をしてきました。来年度も、会員や制度の状況に合わせ各種研修を開催したいと思えます。

◎ 調査・研究部会 ◎

平成26年10月4日秋田市で開催された、「日本介護支援専門員協会東北ブロック研修会」において、昨年度実施した「認知症高齢者の疾患別による行動・心理症状（BPSD）の特徴と介護の実態調査」の報告を行いました。

平成26年度は、地域包括ケアシステムの構築に重要な役割が期待される、地域包括支援センターの主任介護支援専門員の現状と課題を分析し、県協会として主任介護支援専門員への研修や支援のあり方を検討する際の資料とすることを目的とし「主任介護支援専門員の実態調査」を実施いたします。1月中に調査票を発送し、2月に分析、3月にまとめて県協会のホームページにて公表する予定です。また、調査・研究部会で取り組んでほしいことがありましたら是非、会員の皆様の提言をお願いいたします。

◎ 相談部会 ◎

相談部会では、研修会開催時に「困った時は、悩みを聞きます！」のチラシを配布したり、協会ホームページの公開とともに「相談用紙・担当連絡先一覧」をお知らせしております。

部会設置から「Q&A」の作成を計画いたしておりますが、事例もまだ少なく作成にいたっておりません。今後事例としてホームページに掲載する等の方法で皆様にお伝えできるように進めて参ります。

ケアマネジャー業務のことはじめ、ケアプラン作成、苦情処理、リスクマネジメント、その他さまざまな「悩み」や「疑問」「こんなこともあった」等の情報も含めて気軽にご相談、お知らせください。

ご相談に関しましては、電話、FAX、メールでお願いします。相談用紙をご使用になるか、記載内容事項にあわせてご相談ください。

◎ 広報部会 ◎

広報部会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』を活用し情報提供をしております。

県事務局はじめ、各部会・各地区活動等幅広く県民の皆様や、会員他への情報を随時掲載し、県内外の研修会やセミナー・勉強会等の情報を掲示しておりますので是非ご覧ください。今後皆様からお寄せいただきましたご意見を参考に協会活動の周知や情報提供に努めてまいりたいと思います。また各勉強会他地域活動等の周知情報等ございましたら事務局までお知らせください。

会費納入に伴うリコーリースの振替手続きにご協力ください

リコーリースの会費振替手続きが済んでいない会員の皆さままで振替手続きを希望する方は 振替依頼書（各地区事務局にあります）に記載・押印（金融機関届出印）の上、当該年度の2月末日までに事務局まで提出していただきますようお願いいたします。各地区事務局の負担の軽減を図っていくうえでも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。振替申込書は各ブロック事務局へお問い合わせください。

（詳細は県協会ホームページをご参照ください。）

第13号（発行日 平成27年 1月31日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉協議会内

Tel: 018-864-2715

Fax: 018-864-2840

E-mail: shisetsu@akitakenshakyō.or.jp

広報部会 飯坂 正美（県北地区介護支援専門員協会） 平澤 陽（県北地区介護支援専門員協会）
長澤 利一（中央地区介護支援専門員協会） 工藤 寿廣（中央地区介護支援専門員協会）
渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会） 渡邊 寛（県南地区介護支援専門員協会）